

2016年12月期 第2四半期 決算説明会

2016年8月1日

日本電気硝子株式会社

2016年12月期 第2四半期 業績概要

2Q（累）連結業績のポイント

- 景気動向

（世界経済）

欧州：緩やかに回復するも、英国のEU離脱決定により不透明感が増す

米国：堅調な雇用情勢・個人消費を背景に回復基調が続く

中国：輸出停滞、固定資産投資の伸び悩みにより減速

（国内経済）

個人消費に弱さが見られる一方、雇用環境の改善等により緩やかに回復

- 業績

売上高：ガラスファイバが堅調に推移、液晶も2Qに入り回復

営業利益：設備修繕があるも、生産性改善や費用削減が進む

2Q（累）連結業績の概要

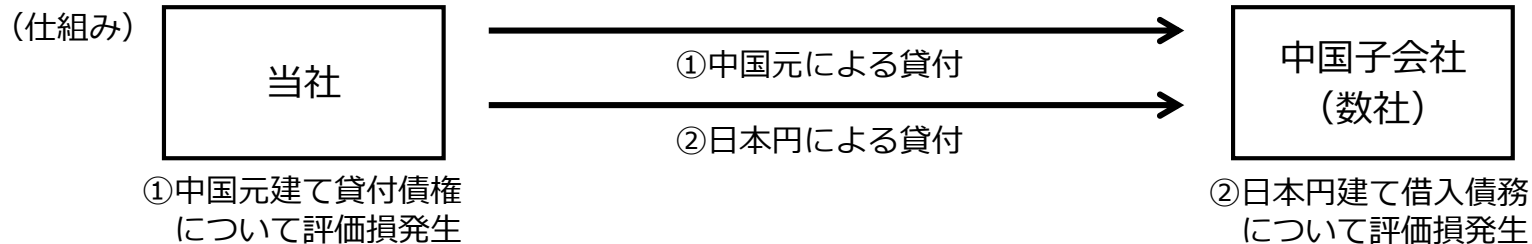
(億円)

	16/12期			15/12期
	1Q	2Q	2Q(累)	2Q(累)
売上高	579	602	1,182	1,239
営業利益 (利益率)	51 (9%)	35 (6%)	87 (7%)	92 (7%)
経常利益	24	△18	5	64
特別損益	0	10	10	△7
税金等調整前四半期純利益	24	△8	16	57
親会社株主に帰属する四半期純利益	6	△19	△12	13
1株当たり四半期純利益	1.30円	△3.86円	△2.55円	2.64円
純資産	5,075	-	5,002	5,240
自己資本比率	71.2%	-	71.5%	71.2%
1株当たり配当金	-	-	8円	8円

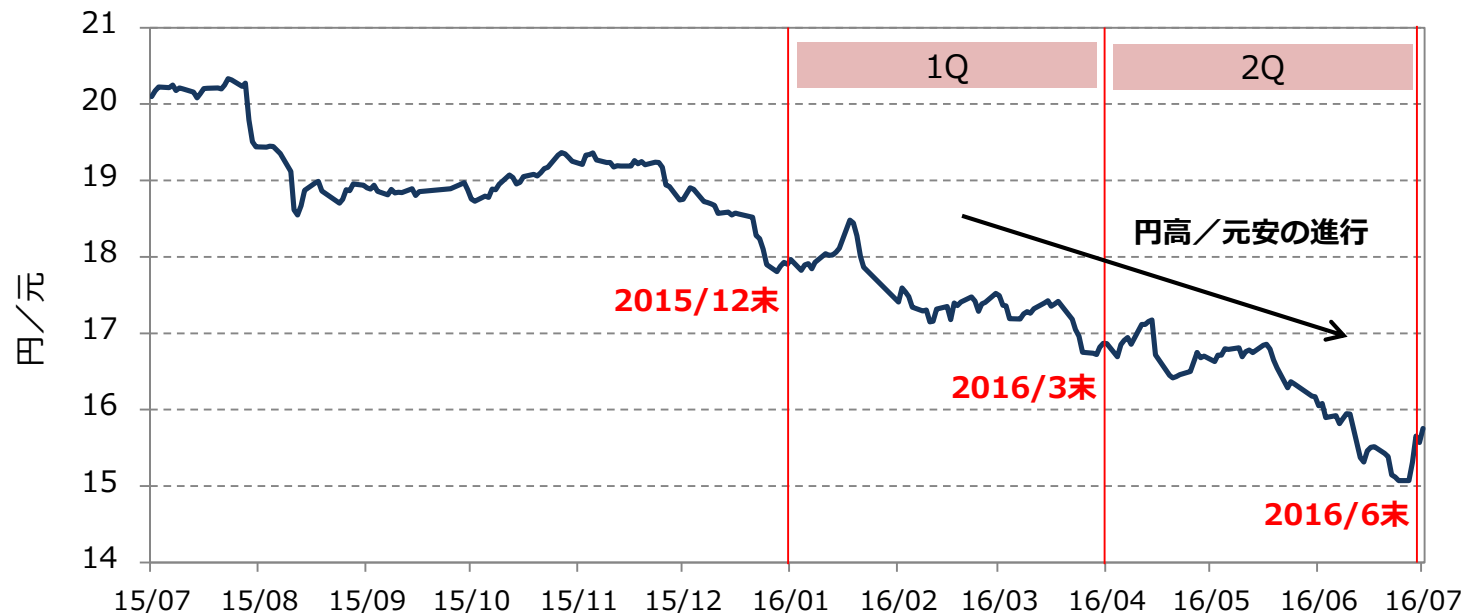
為替差損（評価損）について

発生事由

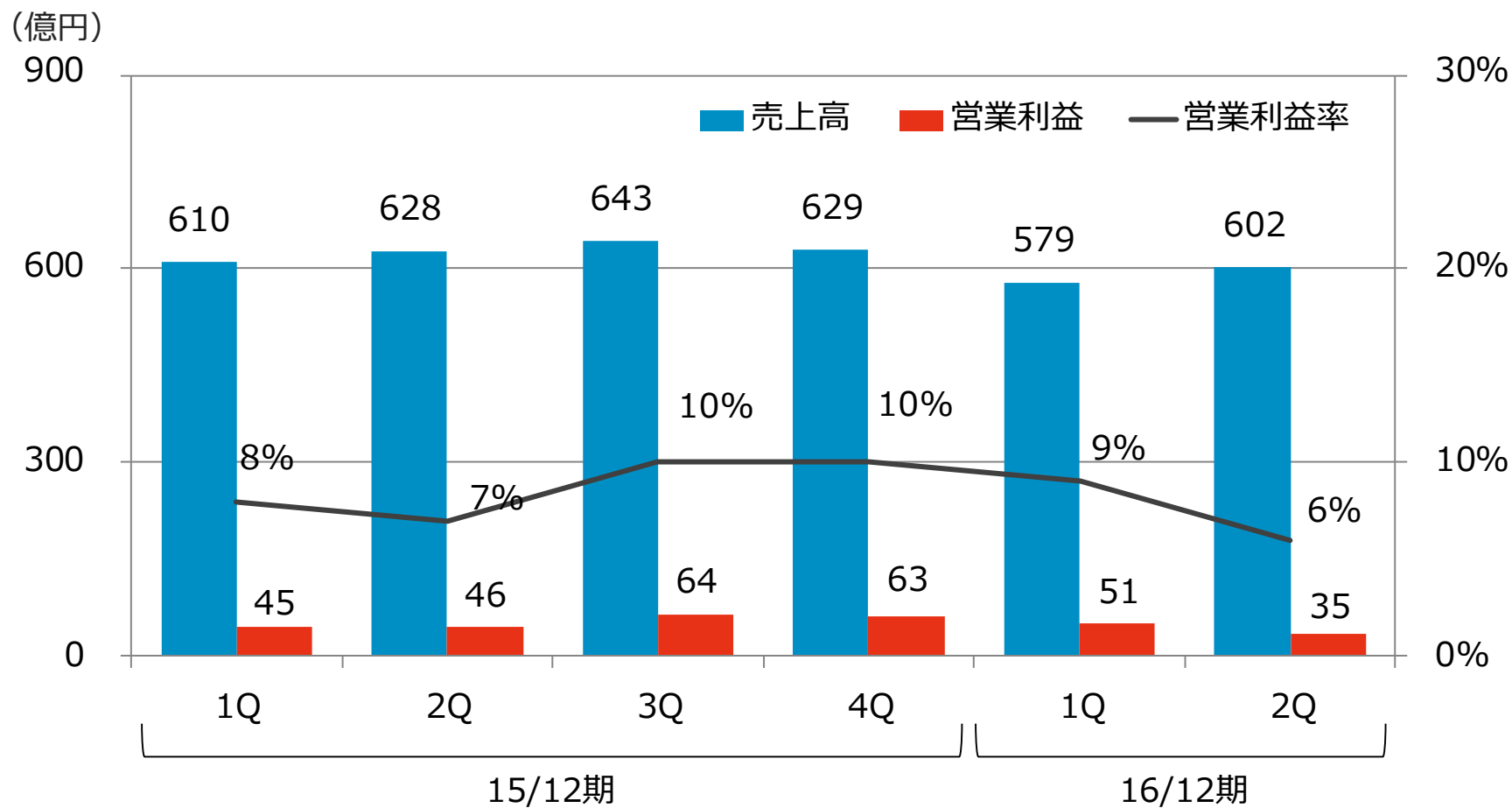
当社（親会社）と中国子会社間の融資に係る債権債務の評価替えによる影響大



(日本円／中国元の為替レート推移)



四半期業績の推移

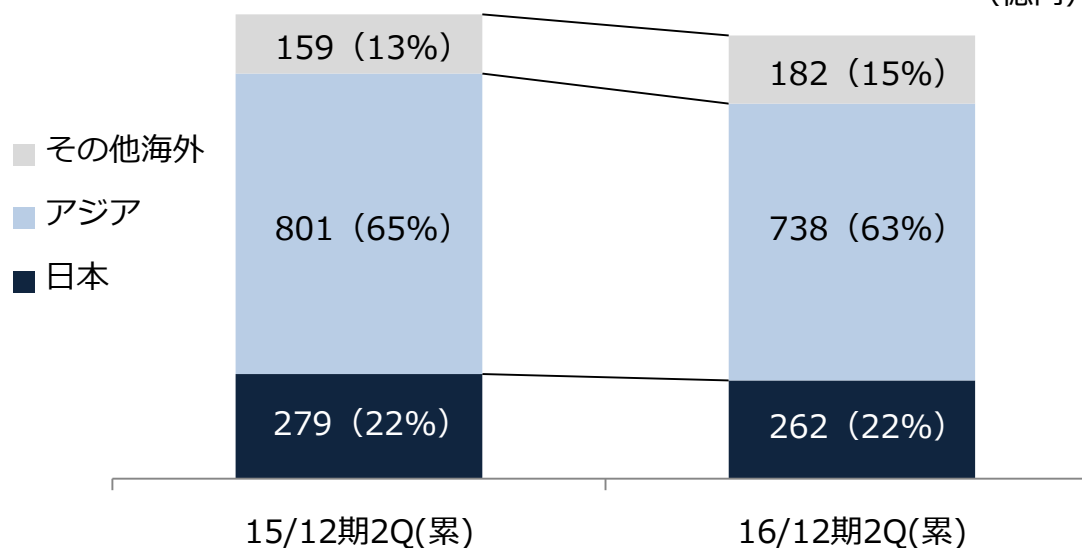


事業分野別・地域別売上高

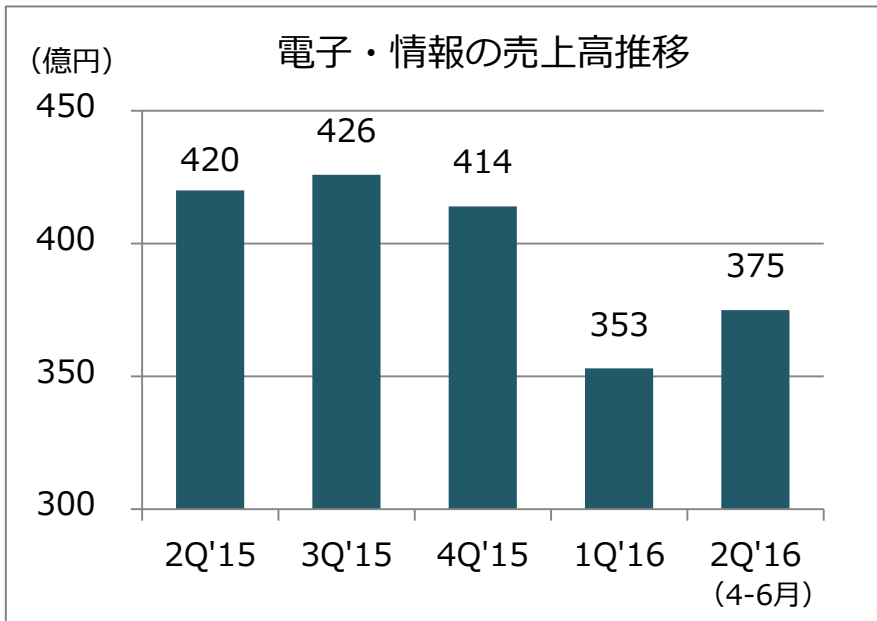
(億円)

		15/12期2Q(累)		16/12期2Q(累)	
		金額	構成比	金額	構成比
ガラス事業	電子・情報	829	67%	728	62%
	機能材料・その他	409	33%	453	38%
合計		1,239	100%	1,182	100%

(億円)



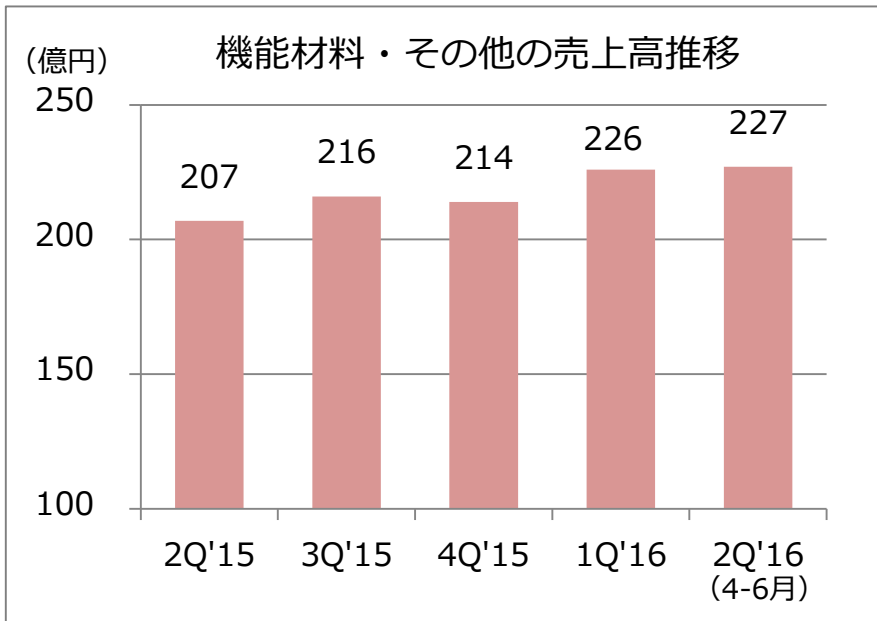
事業分野別の状況 – 電子・情報



- 液晶：2Qに入り販売が回復（2Q）
数量：1Q比＋10%程度の増加
価格：緩やかな下落
- カバーガラス＜Dinorex®＞：
低調な販売が続く
- 太陽電池用基板：
堅調に推移

- 光・電子デバイス：
 - ・ 光関連：一部の市場で販売が減少するも、通信インフラ需要は拡大基調
 - ・ 電子デバイス関連：イメージセンサ用カバーガラスが伸び悩むも、新製品の販売が増加。汎用電子部品向けも安定的に推移

事業分野別の状況 – 機能材料・その他



- ガラスファイバ：
自動車部品向け高機能樹脂用
が、円高の影響を受けつつも
堅調に推移

- 建築・耐熱・医療：
 - ・ 建築：防火設備用ガラス<ファイアライト>が伸び悩む
 - ・ 耐熱：得意先の在庫調整も終わり回復
 - ・ 医薬用管：中国を中心に海外での拡販が進む

連結貸借対照表

(億円)

	15/12末	16/6末	増減
流動資産	2,674	2,573	△100
現金・預金	1,443	1,375	△68
受取手形・売掛金	473	453	△20
たな卸資産	641	595	△45
その他	115	148	33
固定資産	4,595	4,358	△236
有形固定資産	3,860	3,658	△201
無形固定資産	41	38	△3
投資その他	693	661	△31
合計	7,269	6,932	△337

■流動資産

現金・預金（減）：海外子会社における設備取得、配当

たな卸資産（減）：ファイバ販売増加

■固定資産

有形固定資産（減）：円高による外貨建て資産の目減り（－）

減価償却費（－）

	15/12末	16/6末	増減
負債	2,071	1,929	△141
支払手形・買掛金	295	261	△34
借入金・社債・C P	1,097	1,129	32
未払法人税等	34	14	△20
特別修繕引当金	316	282	△33
その他	327	241	△86
純資産	5,198	5,002	△195
株主資本	4,936	4,883	△52
その他の包括利益累計額	195	69	△126
非支配株主持分	65	49	△16
合計	7,269	6,932	△337

■負債

特別修繕引当金（減）：設備の修理予定がなくなり戻入（－）

■純資産

株主資本（減）：利益（－）、配当（－）

その他の包括利益累計額（減）：株式評価（－）

為替換算調整（－）

連結キャッシュ・フロー計算書

	15/12期 2Q (累)	16/12期 2Q (累)	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	150	170	19
税金等調整前四半期純利益	57	16	
減価償却費	182	151	
売上債権の増減額 (△は増加)	△12	△3	
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△66	24	
仕入債務の増減額 (△は減少)	△35	△20	
その他	24	1	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△121	△109	11
固定資産の取得による支出	△223	△164	
その他	101	54	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△54	△31	22
配当金の支払額	△41	△59	
その他	△12	28	
現金等に係る換算差額	3	△30	
現金等の増減額 (△は減少)	△21	△1	20
現金等の期末残高	1,276	1,337	60

(億円)

(営業CF)

- 税金等調整前当期純利益：
減少

- 減価償却費：
高水準の設備投資が続く

- たな卸資産：
減少

(投資CF)

- 固定資産：
海外子会社による資産取得等

(財務CF)

- 配当金：
株主及び少数株主への配当

2016年12月期業績予想

連結業績予想（１）

（2016年12月期）

（億円）

	売上高	営業利益	経常利益	純利益
通期	2,480	190	140	100

（前提）

概況

- 海外：米国堅調も、中国の景気減速、英国のEU離脱問題の影響など不透明感
- 日本：景気は緩やかな回復が継続も、海外の影響に留意

為替

- 想定レート：1ドル＝114円、1ユーロ＝125円

原燃料

- 期初からの原油安・円高によるコスト低減効果が下期も継続

連結業績予想（２）

= 電子・情報 =

ディスプレイ (液晶)

- 16年（暦年）は市場と同程度の成長を見込む
（前年比+1桁前半%）
- 3Q見込み 数量：2Q比微増を見込む
価格：緩やかな下落を見込む

カバーガラス (化学強化専用ガラス)

- 中国をはじめ海外での拡販見込む

電子部品

- 光関連…新興国の堅調な通信インフラ需要が出荷を牽引
- 電子デバイス…年末商戦に向けて需要回復。新製品の拡販や自動車用途での販売増加を図る。

太陽電池用基板

- 堅調な出荷を見込む

連結業績予想（３）

= 機能材料・その他 =

ガラスファイバ	● 自動車向けを中心に高水準の販売を見込む （市場拡大とシェア向上）
医薬用管	● マレーシア子会社の能力増強 ● 中国を中心に海外市場での拡販を進める
耐熱	● トッププレート用を中心に堅調な出荷を見込む
建築	● 防火設備用ガラス、放射線遮へいガラスを中心に拡販を進める

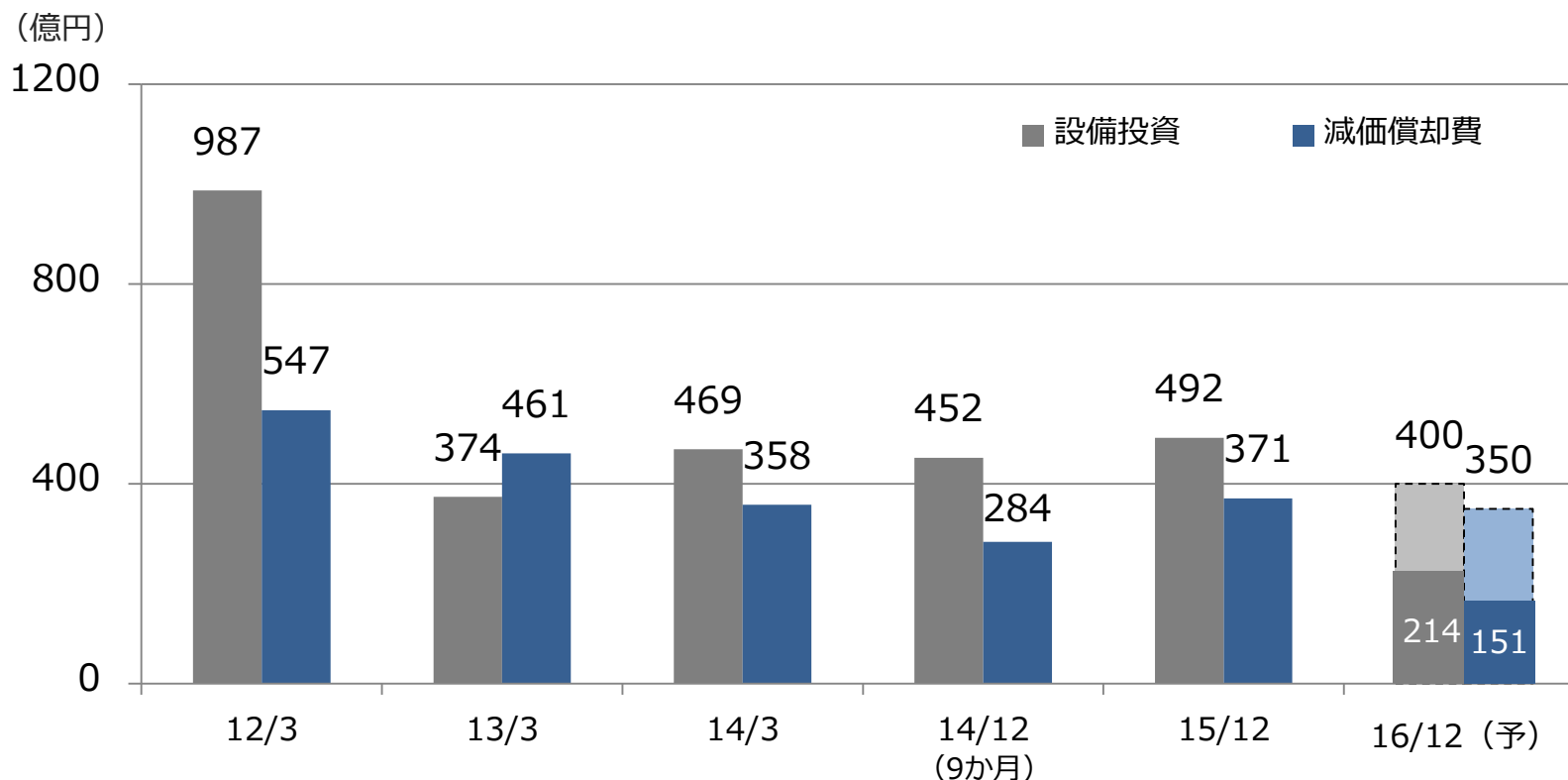
設備投資・減価償却費の見通し

設備投資

- 400億円程度（完工ベース）
- 液晶の海外展開（中国・厦門及び南京）、ファイバ能力増強（マレーシア）、医薬用管ガラス能力増強（マレーシア）など

減価償却費

- 350億円程度



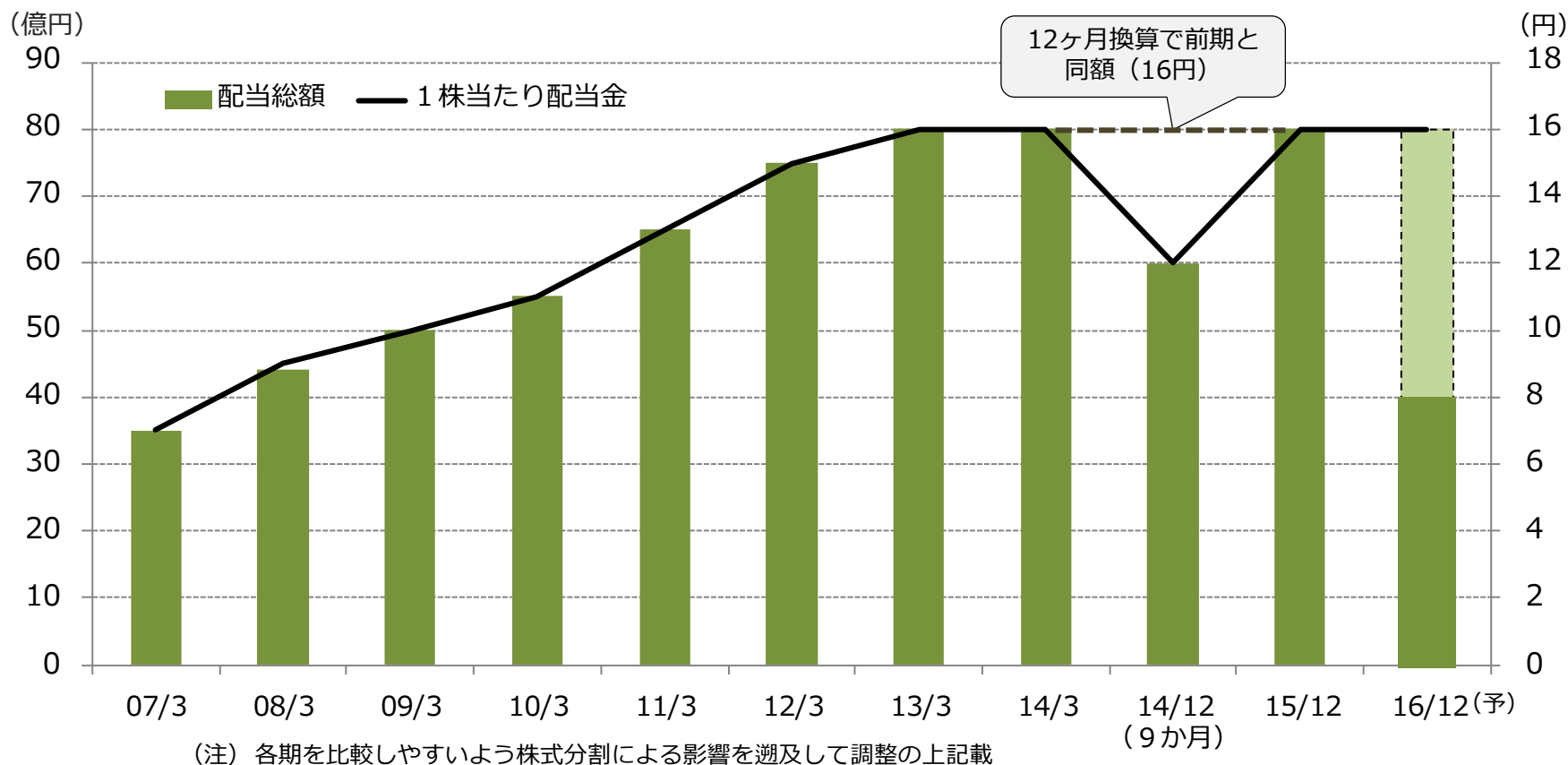
利益配分の基本方針と配当予想

利益配分の基本方針

- 株主還元は安定配当の継続が基本
- 時機に応じて弾力的な株主還元策も検討
- 株主還元とともに、将来を見据えた研究開発や成長投資に積極的に活用

2016年12月期配当予想

- 中間… 8 円／株
- 期末… 8 円／株（予）



中期経営計画「EGP2018」 達成に向けた取り組み

中期経営計画「EGP2018」達成に向けた取り組み

「ディスプレイ」関連事業の収益力強化

- 国内・海外拠点に、順次、製造に係わる新技術を導入
- 電気硝子（厦門）（溶融・成形）のスムーズな立ち上げ（2016年5月本格稼働）
- 電気硝子（南京）（加工）の生産スタート（2016年7月）
- 中国市場での拡販

「機能材料・その他」分野の事業拡大

- マレーシアでのガラス繊維の高い生産性を継続
- PPGと欧州ガラス繊維事業取得に関する覚書の締結
- マレーシアにおいて医薬用管ガラスの生産能力を増強

「機能材料・その他」分野の事業拡大

● PPGと欧州ガラス繊維事業取得に関する覚書の締結（2016年6月）

- 対象：①英国Wigan工場（事業譲受）
②蘭国Hoogezand工場（全株式取得）

	英国Wigan工場	蘭国Hoogezand工場
主要製品	樹脂強化用ロービング	樹脂強化用チョップドストランド
主な用途	風力発電用ブレード、自動車部品用複合材料	自動車部品用複合材料
売上高	約150百万ユーロ	

- 目的：①グローバル供給体制の強化
②チョップドストランドの拡販
③その他製品ラインアップの充実

着実に事業規模と業界プレゼンスを拡大
名実ともに会社の第2の柱に

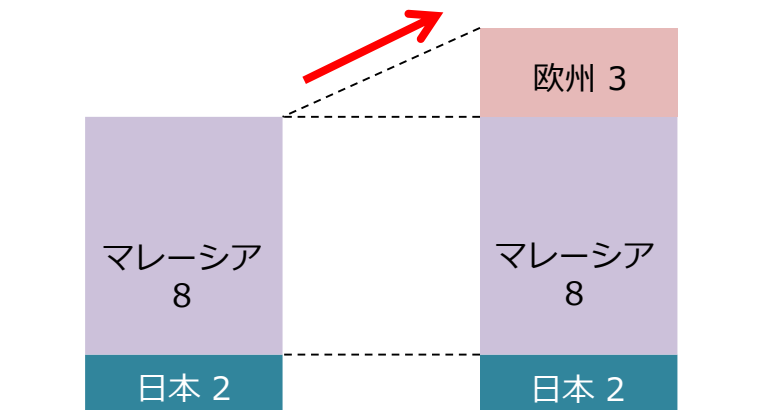


「機能材料・その他」分野の事業拡大

【ガラス繊維事業の売上規模】

約650億円（2016年度目標）→ **800億円台へ**

【生産規模】



【樹脂強化用ガラス繊維の世界シェア※】

※当社推定

チョップドストランド：30%強 → **40%**

（日程）

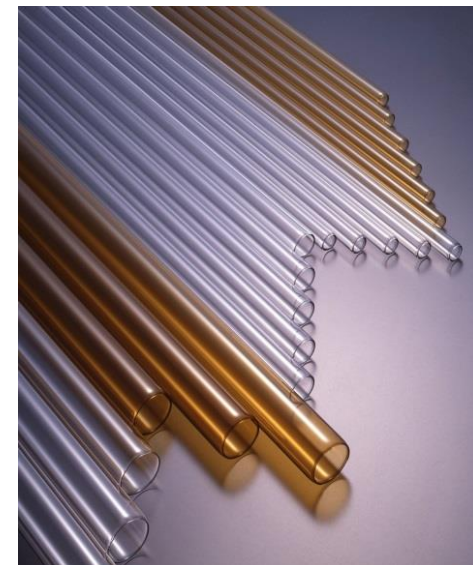
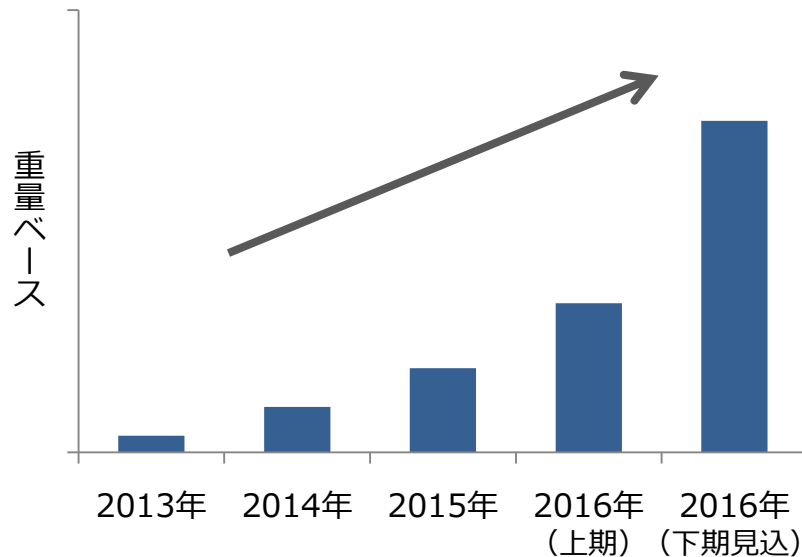
クロージング： 2016年9月末予定

「機能材料・その他」分野の事業拡大

● マレーシア子会社において医薬用管ガラスの生産能力を増強

- ・ 目 的：中国などアジア市場の需要拡大に対応
- ・ 生産開始：2016年8月
- ・ 生産能力：グループの生産能力が約25%増加

中国市場への販売量の推移（月平均）



医薬用管ガラス

「機能材料・その他」分野の事業拡大

研究開発の強化・積極投資

- **半導体サポートガラスの量産開始（2016年1Q）**
 - ・ 半導体製造プロセスで使用開始
 - ・ 得意先のニーズに合わせ、低膨張から高膨張まで様々なガラスの提供が可能
- **日本板硝子（株）との共同開発（2016年4月）**
 - ・ エンジニアリングプラスチックの強化及び形状安定材料の開発
 - ・ グローバルでサンプルワーク中
- **NSマテリアルズへの出資（2016年4月）**

同社が開発・製造を進める量子ドットと当社の特殊ガラス材料技術を組み合わせた製品開発（照明分野での新材料、新デバイスなど）
- **セラミック封止用レーザーガラスフリットの開発（2016年5月）**
 - ・ イメージセンサやLEDなどの半導体素子のパッケージ材料の開発
 - ・ 車載用セラミックスパッケージや殺菌用途に使用される深紫外LEDなどへの利用を目指す

日本電気硝子の概要

主要な事業内容

電子・情報	薄型パネルディスプレイ（FPD）用	液晶ディスプレイ（LCD）用ガラス 有機ELディスプレイ（OLED）用ガラス
	カバーガラス用	化学強化専用ガラス<Dinorex®>
	光関連	光通信デバイス用キャピラリー・フェルル 光通信デバイス用レンズ部品 非球面レンズ用硝材<マイクロプリフォーム>
	電子デバイス用	機能性粉末ガラス イメージセンサ用板ガラス 小型電子部品用管ガラス 蛍光体ガラス<ルミファス®>
	太陽電池用	太陽電池用ガラス
機能材料・その他	ガラスファイバ	機能樹脂用チョップドストランド 強化プラスチック用ロービング 自動車用チョップドストランドマット セメント強化用耐アルカリ性ガラスファイバ
	建築用	ガラスブロック 結晶化ガラス建材<ネオパリエ> 防火設備用ガラス<ファイアライト> 超薄板ガラス-樹脂積層体<Lamion®> 超低反射膜付ガラス<見えないガラス>
	耐熱用	超耐熱結晶化ガラス<ネオセラム> 耐熱ガラス<ネオレックス>
	医療用	医薬用管ガラス 放射線遮へい用ガラス<LXプレミアム>
	その他	照明用ガラス 魔法びん用ガラス ガラス製造機械

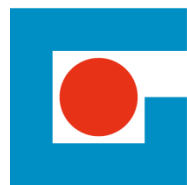
会社概要

社名	日本電気硝子株式会社
本店所在地	〒520-8639 滋賀県大津市晴嵐二丁目7番1号
創立	1949年12月1日
代表者	取締役会長 有岡雅行 社長 松本元春
資本金	32,155百万円
従業員数	連結5,144名（16年6月末）
事業内容	特殊ガラスの製品およびガラス製造機械の販売
事業場	大津、滋賀高月、能登川、 若狭上中、精密ガラス加工センター
営業所	大阪、東京
連結子会社	国内 12社 海外 12社 （マレーシア、韓国、中国、台湾、等）

予想に関する留意事項

- ◆ 本資料に記載されている業績見通しは、当社が現時点で合理的と判断する一定の前提に基づいて作成されたものであり、リスクや不確定要素を含んだものです。
- ◆ 実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績見通しと大きく異なる結果となりうることをご承知おき下さい。

GLASS FOR FUTURE



日本電気硝子

(お問い合わせ)

日本電気硝子株式会社
総務部広報・IR担当

TEL : 077-537-1702 (広報・IR担当直通)
<http://www.neg.co.jp>